

しあわせの雨傘
 NLTプロデュース公演
言わせて!
今日の芝居
 五十字劇評 No.29

▼賀来千香子さんをキャスティングしたのはなぜ?セリフが全く伝わってこない。NLTはネームバリューに頼りすぎ。地元ネタをやるのは、作品に自信が無いか観客をバカにしてるかのどちらかだろう。プロがやるものじゃない。

(女性)

▼劇の展開が面白く、脇役の方の演技の絶妙さに感動しました。一生恋に生きる人物像にフランスを感じました。

(性別不詳)

▼世の中すべてが政治活動なんだ、というセリフがよかったです。賀来さんのスピーチも感動しました。

(女性)

▼今年から入会して、しあわせの雨傘を観れて賀来千香子さんを生で：嬉しかったです。

(女性)

【五〇代】

▼この芝居自体がまさに「飾り壺」。賀来さんのポスターはとてきれいでした。

(女性)

▼賀来さん演ずるシュザンヌが絶妙。「飾り壺」からの脱却・転身は痛快でした。さて、今を生きる私は「何」から脱却したいのか自問自答。

(女性)

▼賀来さんのイメージが強すぎて、役柄がきれいにまとまり、現実感なく感じた!でも私も多くの人も楽しみました。

(女性)

▼賀来千香子さん満載の芝居

(女性)

でした。実年齢は芝居の設定ぐらいの子供がいても全然おかしくないのに、あの若さと美貌はさすが。そして、彼女の成長(自立!)に合わせた数々の衣装替え。自分勝手に傲慢な夫役を演じた井上純一さんが好演!前半は実に嫌味な「あるある夫」を、後半は可哀想なぐらい慌てふためく夫を演じて、主人公を際立たせ、コミカルな芝居に仕立てていたと思います。

(男性)

▼前半ラストの演説で経営の手腕発揮!!後半はと期待したらドタバタ劇の展開で、気が付けば笑って終わってました。

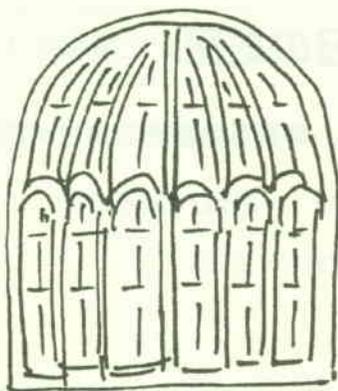
(女性)

▼ヒロイン、シュザンヌ役の賀来千香子が美しく魅力的!!飾り壺から女社長へとポジティブに生きる様が痛快。笑えて、楽しめて、私にとつて《心のオアシス》のような舞台であり、しあわせな一四〇分でした!!

(性別不詳)

▼楽しいお芝居でした。女性化したかさを賀来千香子さんが、ソフトに嫌味なく表現していてもすごく素敵でした。遠野なぎ子さんの服装が何かやぼったく社長秘書としては少々ピンボケがしました。男性の自分のしていることは何とも思わず、妻の過去に驚く様子がおかしくなりませんでした。

(女性)





▼賀来さんの華やかさと笑いで盛り上がるころはあったものの、全体としては薄っぺらな印象を受けた。それからダメなのは、「地元ネタ」。今回に限らず、これはやめてほしい。別にこんな事で笑いを取らなくても、内容でしっかりと勝負してほしい。観客をばかにしているようで、とても不愉快に感じた。(男性)

▼全編懐かしきポルナレフの美声に彩られ。仏においてさえ、ひと昔前、女はキレイなだけのお飾りだったとは。驚き。(女性)

▼演劇における「声」の重要性をまざまざと見せつけられる場面があった。この芝居の山場ともいえるシユザンヌの労働者に向かつての演説。思いは伝わったのだろうか。私の心には響いてこなかった。確かに聞こえていた。ただそれだけであった。飾り壺から抜け出す葛藤は無かったのだろうか。とても重要な要素だと思うのだが。もう一つ、ご当地(旭川)ネタに何の意味が。違和感・不快感だけが残ったままである。(男性)

【七〇代】

▼素晴らしい話を見ました。元気が出ました。(女性)

▼余韻の残らない芝居だったなあ。出演者は6名だけけど、舞台裏で働く人の多さにびっくり。裏方はがんばるね。(女性)

▼「お飾り」であったはずの妻の実体が明らかにになり、堂々と生き生きと存在していて、

晴れやか！世界共通の気分なのですネ!! (女性)

▼仏音楽が心地よく、フランス感があつた。後部席だったが、声がよく聞こえた。人の飾り物はだめ！何か生きがいをも！ (女性)

▼飾り壺と言われていた経営者夫人があることを契機に家族友人を通し大変貌していく様子を華やかな装いと共に楽しんだ。(女性)

▼賀来さんは美しく、愛らしく、井上さんは、コミカルな演技の上手さに驚き、最上の舞台を観た感動は暫く続きそうです。難しいことを考えずに、ほっこり幸せ気分を頂きました。(女性)

編集スタッフから
 自分のために書くということも大事なのは。観劇後、すぐに感動を自分宛にメールしておくことがあります。そんな例会が増えるといいですね。

50字劇評「言わせて！今日の芝居」に投稿を！

ここは、会員が「芝居を自由に語る場」です。率直な感想をお寄せください。

署名 “不審”です。編集の都合上、「男」・「女」・「～歳代」は記入を！

字数 “50字”を目安として、思いの丈をお寄せください。

締切 2018年8月31日(金)